



・活気ある
千葉市へ!!

住 所：千葉市若葉区西都賀5-9-1
TEL：043-207-5561
FAX：043-207-5562
E-MAIL：aso@chibadora.com
自 宅：千葉市若葉区西都賀の台3-10-37

民主党千葉市議会議員団

麻生 のりお

市議会便り

Vol.4

千葉市の活性化へ、新たな視点で市政へ挑戦!!

平成23年度は新人議員として、「安心・安全な千葉市へ」「活気ある千葉市へ」をモットーとし、防災・地域活性化・インターネット広報をテーマに、全力で走り続けた1年間でした。本議会定例会において、専門知識を活かして2度の一般質問・要望を行い、対応して参りました。

新年度も、熊谷俊人市長と共に財政再建を喫緊の課題としつつ、「市民の生活が第一」の市政実現を掲げ、防災・福祉・教育を中心とした住民主体の街づくりに向け、**市民満足度100%を目指して**、市政へ挑戦して参ります。



● 平成23年度の主な取り組み



東日本大震災復興支援事業 映画上映会を開催。

収益金は復興支援金として東北へ!!

映画「エクレール お菓子放浪記」千葉市上映会の発起人として、実行委員会を千葉市内12ライオンズクラブ・千葉市社会福祉協議会・千葉市文化振興財団と立ち上げ、事務局長を担当、市・教育委員会、新聞各社・千葉テレビ他の後援をいただき、多くの協力団体のもと、上映会を開催することができました。市と民間が力を合わせて行えた復興支援を今後の市政に活かしていきます。



・チケット売上3,752枚(来場2,148人)
 ・マロンド復興支援限定エクレア3,000個完売(売上の一部は義援金)
 ・募金総額570,875円(会場内314,875円、寄付256,000円)
 ・本事業の収益金・寄付金は東北へ復興支援金として寄付します。

●学校施設耐震補強工事の前倒しへ!

小中学校の校舎、避難所となる屋内運動場の耐震補強工事前倒しに向け、教育長へ要望書を提出し、補正予算で実施設計などを行い、全体計画が平成27→26年度完了へ前倒しとなりました。

【前倒しとなった主な小中学校】

学校名	校舎	屋内運動場	学校名	校舎	屋内運動場
若松小学校	H24	H25→H24	北貝塚小学校	補強済	H26→H25
若松中学校	耐震化有	H25→H24	千城台旭小学校	H27→H26	H27→H26
小倉小学校	H24	H25→H24	千城台西小学校	H27→H26	H27→H26
みづき台中学校	H26→H25	H24	千城台西中学校	補強済	H27→H26
坂月小学校	H25	H26→H24	千城台東小学校	H27→H26	補強済
大宮台小学校	H25	H26→H25	千城台南小学校	H27→H26	補強済
大宮中学校	H24	H26→H25	千城台南中学校	H27→H26	補強済
都賀の台小学校	H25	H26→H25			

●加曽利貝塚の地域環境整備へ、要望書提出!

道路標識・案内表示板の再整備とモノレール桜木駅舎を地域拠点となるようボランティア団体へ開放など、特別史跡申請に向けた環境整備を要望しました。

●ホームページリニューアル、見易さ使い易さを追求!

市民への広報は、市政だとよりホームページがあります。ホームページには、速報性と見易さが求められますが、従来のホームページでは、使い勝手など課題が多く、平成23年第3回定例会の一般質問で改善点を指摘要望、1月10日にリニューアルされ、大変見易く改善されました。

●地域防災計画の見直しへ!

これまでの大坂府・東京都・香川県・長野県など多数の防災情報センターを構築してきたキャリアを活かして、東日本大震災時の市の対応を検証し、平成23年第3回、平成24年第1回定例会の一般質問にて、地域防災計画の見直し項目を指摘・要望し、平成24度見直しとなりました。

更に市の防災力強化に向け、防災情報センター構想及び災害時の情報収集・発信力を高めるべく、インターネット上の仕組みづくりを行っていきます。



●JR都賀駅前の放置自転車対策!

JR都賀駅前の放置自転車対策に向け、監視時間見直しを要望し、朝6時からとしていただき、結果、放置自転車を激減させることができました。今後は駐輪場の増設、放置自転車の早急な撤去など、通勤・通学時の駅前での歩行者の安全性を高めるべく、更なる強化を要望していきます。



●被災地ボランティア活動!

東日本大震災の復興支援として、東北と旭市の被災地へボランティア活動と義援金を届けに行きました。今なお34万人の方が避難生活を送り、内11万人の方が仮設住宅で暮らしているとのことで、今後も市政運営に力を尽くすなか被災地支援を続けていきます。



●浸水問題解消へ地域と市と協議会開催!

長年浸水問題で御苦労されていた地域の皆様と市との協議会を開催することができ、対策検討・実態調査を行いました。この結果、平成23年度内に対策工事をしていただき、浸水問題解消へ大きく前進することができました。

●放射能測定調査を実施!

市の放射能測定に先立ち、会派の測定器を用い、地域の皆様と一緒に、公園・側溝・学校など地域のポイントとなる場所の放射能測定を行いました。市も陳情審査の結果を踏まえて、空間放射線量測定・給食食材スクリーニング検査(平成23年10月～)、給食食材産地の公表などを実施していくとのことです。

●待機児童の大幅な解消へ!

熊谷市政となり「待機児童解消に向けたアクションプラン2010」が策定され保育政策の大きな柱として、保育園や保育ルームの整備が行われてきました。平成24年度は、市立保育園新設を5ヶ所(定員345人程度)、既存施設の定員変更1ヶ所(45人程度)、分園設置1ヶ所(定員70人程度)、幼稚園型2ヶ所(定員60人程度)、合計520人程度を予定、更なる解消に向け、要望していきます。

平成24年第1回定例会（2月20日～3月16日）

本定例会は、議案71件（予算27件、条例29件、一般7件、人事8件）、発議9件（条例3件、意見書6件）、請願1件、陳情7件が審議され、議案については、全会一致もしくは賛成多数で可決・同意、発議は条例2件、意見書6件が可決、請願は継続審査、陳情は1件が採択送付となりました。

一般質問では、以下4点について、1問1答方式で60分、当局と市民目線で真剣に向き合うことができました。

1. 防災について

質問の
観点

- ・東日本大震災における市の対策についての検証
- ・防災情報システム導入による防災力強化



防災情報センター構想を作り上げてから、地域防災計画の見直しをかけなければならないほどシステムと行動はリンクすることを助言しておきます。そこでまず地域防災計画の中に、総合防災情報センター構想として、システムの概念図、全体像を描いていただきたいと思いますが、見解を伺います。



麻生のりお

地域防災拠点としても危機管理センターや防災情報システムを整備する際の指針として、センターやシステムが持つべき機能や設置条件について、地域防災計画へ盛り込んで参りたいと考えております。



エリアメールや安全・安心メールなど、職員が手動で行っているものは自動化し、それぞれが連動したシステムとして機能すべく改善を求めますが、どうでしょうか？

麻生のりお

東日本大震災の経験を踏まえた初動態勢の見直しの中で、市民への情報伝達手段の拡充を行っており、津波警報や避難勧告、避難指示などは、同一情報を防災行政無線、ホームページ、ツイッター、エリアメール、緊急速報メール、安全・安心メール、更には協定先のテレビ・ラジオ局など、多様なメディアに一斉に送付する必要があります。これらを連動させ、各メディア向けの通信電文を自動的に送れるようにすることは、情報の確実な伝達と災害対応の迅速化に効果があると認識しておりますので、今後このようなシステムの開発・運用について調査研究して参ります。



災害対策のシステム化と地域防災計画の見直しへ！

3.AEDについて

質問の
観点

- ・24時間対応と普及についての行政対応
- ・AEDマップ作成による設置場所の周知



千葉市においても、24時間対応できるコンビニやガソリンスタンドとの提携という取り組みについて、現時点での見解を伺います。



AEDの設置にあたっては、日常点検の実施など適切な管理が必要なほか、従業員等が心肺蘇生法を習得していることも重要です。また、設置に係る費用負担などの課題があるものと考えております。

コンビニやガソリンスタンドとの提携などについては、他市での取り組みなどを参考に研究して参ります。



千葉市オリジナルのAEDマップを作成し、インターネット公開することで、周知する手法について、どのように考えているのでしょうか？



消防局では、ホームページ上に掲載してある、応急手当普及協力事業所一覧表の事業所名をクリックするだけで、一般的に普及しているインターネット上の地図に、AEDが設置されている事業所の所在が表示できるようにして参ります。

更なる普及に向け、民間との提携検討をしていくとともに、AED設置マップ作成による広報を要望！

麻生 のりお プロフィール

1984年：千葉県立四街道高等学校卒業
1988年：千葉工業大学工学部電子工学科卒業
松下電器産業株式会社入社
1996年：自治体防災情報システムのスペシャリストとして、京都大学防災研究所と共同研究
米国連邦危機管理庁（FEMA）など米国防災視察団一員
都賀の台自治会 副会長
2000年：株式会社トレジャー・コミュニケーションズ代表取締役社長就任
2009年：日本ドッジボール協会関東ブロック連絡会普及副委員長
2011年：千葉県ドッジボール協会 副会長
千葉県議会議員選挙（若葉区）初当選3,849票
総務委員会委員、防災・危機対策調査特別委員会委員、広報委員会委員
自衛官募集相談員

2. 加曽利貝塚について

質問の
観点

- ・特別史跡（国宝級）申請に向けて、地域環境の再整備の重要性



道路標識・信号機付き交差点・地図・歩道のナビゲーション整備、まずはできるものから早急に環境整備をお願いしたいのですが、具体的な取り組みも含めて答弁お願いします。



加曽利貝塚



道路標識の整備等は、より多くの方々に加曽利貝塚へ足を運んでもらうために、取り組むべき重要な課題であると認識しております。取り組みにあたっては、費用、効果等を総合的に勘案し、計画的に対応する必要がありますが、短期的には、モノレール桜木駅構内の案内板のリニューアルや公的交通機関への働きかけ等を検討して参ります。



例えば「日本初の特別史跡へ」など、何らかのキャッチコピーを付けたポスターを作成し、PRするはどうでしょうか？
キャッチコピー付ポスターを、モノレール各駅に貼るなど、モノレール利用者を加曽利貝塚に呼び込む工夫をすれば、利用者増につながり相乗効果があると思いますが、どうでしょうか？



モノレールは加曽利貝塚までの主要なアクセス手段であり、相互の連携は加曽利貝塚の活性化のために不可欠であると認識しており、キャッチコピーやポスターの作成等も含め連携のあり方を検討して参ります。

標識・案内板の再整備、キャッチコピー付ポスター作成へ！ モノレール桜木駅の駅舎を地域拠点として開放を要望！

3. AEDについて

質問の
観点

- ・市ホームページのアクセス増への取り組み
- ・市民のための、ホームページ上で情報公開の改善



市のホームページのアクセスが少ないので、それぞれの部局のコンテンツ・情報公開のスピード、見せ方、周知としての策が不十分にも思えます。全体のアクセス増を目指す手法として、より多くの市民に届けるための取り組みとして行ってることは、何でしょうか？



市 当 局

既存の広報媒体を有効活用するとともに、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアや地域情報総合サイトである「Yahoo!ロコ」など、幅広いメディアを活用した、積極的な情報発信に努めているところであります。



市ホームページで、イベント主催者の広報、市民もイベント情報の検索ができないため調べたくとも困難ですが、イベントカレンダーの設置により、市民サービスを向上できると思いますが、どうでしょうか？



市政に対する理解を深めていただくためには、コンテンツの充実が重要でありますので、有効なものについては、反映して参りたいと考えております。

ホームページ上で情報発信は、市民が取得しやすくなるよう更なる改善を、スマートフォンなどへは最適化を要望！

市政へのご意見・ご提案をお待ちしています。



TEL : 043-207-5561

FAX : 043-207-5562

E-MAIL : aso@chibadora.com

ブログ : http://ameblo.jp/chibashigi-aso/

Twitter, Facebook : ID = 麻生 紀雄